

第208回イタリア映画鑑賞会

入場無料

- 日 時：2023年12月1日(金)18:00開場／18:30開演(21:00頃終演予定)
- 会 場：あじびホール
(福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館8階 / TEL 092-263-1100)
- 入 場 料：入場無料／先着100名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第208回上映作品 **追悼ヘルムート・バーガー**
『**家族の肖像 Conversation Piece**』
(1974年 121分 英語/日本語字幕)

監督／ルキーノ・ヴィスコンティ 原案／エンリコ・メディオーリ
脚本／スーズ・チェッキ・ダミーコ、ルキーノ・ヴィスコンティ、エンリコ・メディオーリ
撮影／パスクアリーノ・デ・サンティス 音楽／フランコ・マンニーノ
美術／マリオ・ガルヴリア 製作／ジョヴァンニ・ベルトルッチ
出演／バート・ランカスター、シルヴァーナ・マンガーノ、ヘルムート・バーガー
クラウディア・マルサーニ、ステファノ・パトリッツィ、エルヴィラ・コルテーゼ

ルキーノ・ヴィスコンティ監督の“恋人”だったヘルムート・バーガー氏が今年5月18日にザルツブルグで亡くなった。(享年78歳)1944年5月29日、オーストリアのバート・イシュルでホテル・レストラン経営者の一人息子として生まれ、ホテルの専門学校に行かされるが、家業に興味がなく、俳優の道を志し、ロンドンへ。アルバイトをしながら演劇学校へ通う。ヒッピー文化に影響を受け、イタリアへ移り、ペルージャ大学在学中、トスカーナにロケで来ていたヴィスコンティ監督の眼に止まり運命的な出会いとなる。

1966年、「華やかな魔女」第1話のヴィスコンティ監督『疲れきった魔女』でデビュー。1967年「ヤング・タイガー」で初主演。数本の映画やTV映画に出演後、1969年「地獄に堕ちた勇者ども」で再度ヴィスコンティ作品へ。1972年、ヘルムート・バーガー主演の「ルートヴィヒ」撮影中、ヴィスコンティ監督は血栓症で倒れたが、映画は完成。2年後に「家族の肖像」で復活する。

ローマのアパートマンで「家族の団欒」を描いた絵画を収集・研究している老教授は俗世間を嫌い、老メイドと二人で静かに暮らしていた。ある日突然、中年のブルジョワ女性が入り込んで来た。彼女は自分の愛人を上の階の部屋に住まわせる。価値観の違う若者だったが、彼が類まれなる芸術の理解者であることを知った教授は・・・。

ヘルムート・バーガーはヴィスコンティ監督の死後、荒れた生活を送るが、友人たちの支えで再起。アメリカ作品やドイツのテレビなどで人気を博し、出生地には胸像が建てられた。この作品を追悼とさせていただきます。(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・本村・清家
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp